

## 組立柵渠 (特許出願中)

## 実績

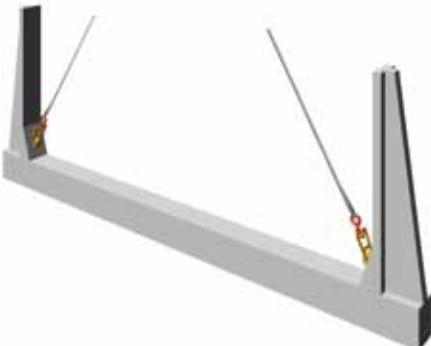


## 特長

- 排水路として使用できます。
- 組立式である為、運搬及び施工時の重量負担が軽減します。
- 一枚板である為、従来の分割式と比べ、裾付けが容易で、大幅な工期短縮となります。
- 「枠」及び「板」共に専用の施工治具によって、安全に施工ができます。
- 「板」の転倒防止機能によって、埋戻しまでの施工性が向上し、また施工後に背面土砂が沈下した場合でも、板の転倒を防止します。



吊上げ状況：枠



吊上げ状況：板



板の施工後は、専用キャップで吊り孔を塞いで下さい。

転倒防止機能



魚巣タイプ

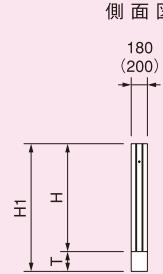


## 組立柵渠

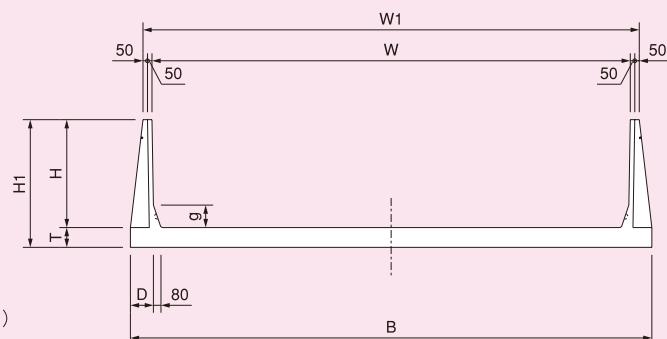
## 寸法図

## 枠

## 側面図



## 正面図



※1：枠ピッチ：1.50m (H=1500のみ1.52m)

※2：( )内寸法は、H=1500を表す

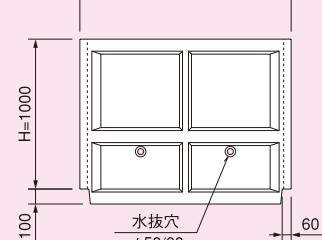
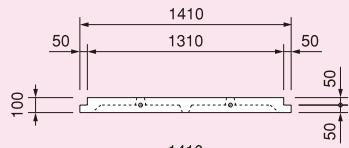
## 寸法表

呼び名 (W×H)	寸 法 (mm)						参考重量 (kg)
	W1	B	H1	T	D	g	
3000×1000	3200	3384	1200	200	210	220	379
3500×1000	3700	3884					422
4000×1000	4200	4384					465
4500×1000	4700	4884					509
5000×1000	5200	5384					552
5500×1000	5700	5884					595
6000×1000	6200	6384					638
3000×1200	3200	3480	1420	220	260	250	444
3500×1200	3700	3980					491
4000×1200	4200	4480					539
4500×1200	4700	4980					586
5000×1200	5200	5480					634
5500×1200	5700	5980					681
6000×1200	6200	6480					729
6500×1200	6700	6980					776
7000×1200	7200	7480					824
3000×1500	3200	3550	1750	250	300	300	606
3500×1500	3700	4050					666
4000×1500	4200	4550					726
4500×1500	4700	5050					786
5000×1500	5200	5550					846
5500×1500	5700	6050					906
6000×1500	6200	6550					966

\*上記以外の寸法に関しては、ご相談下さい。

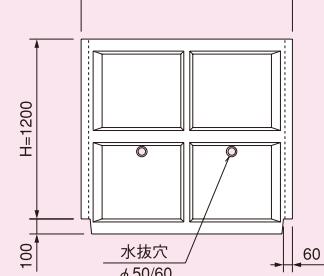
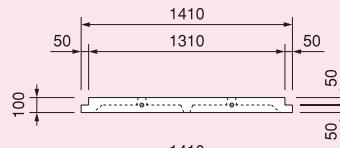
## 一枚板

## H=1000用



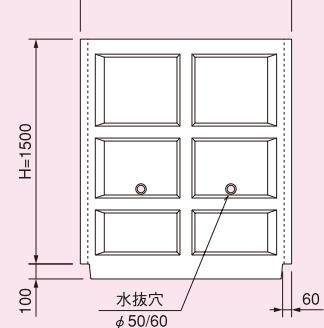
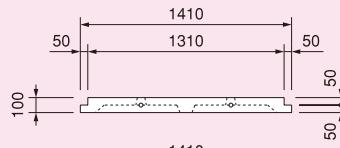
参考重量：245kg

## H=1200用



参考重量：285kg

## H=1500用



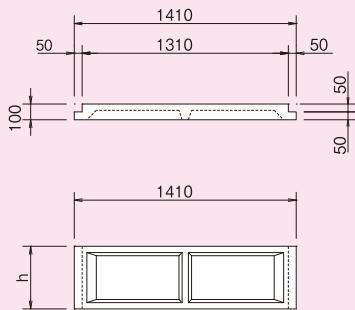
参考重量：379kg

\*板下部の切欠き寸法は、現場に合わせ対応いたしますので、ご相談下さい。

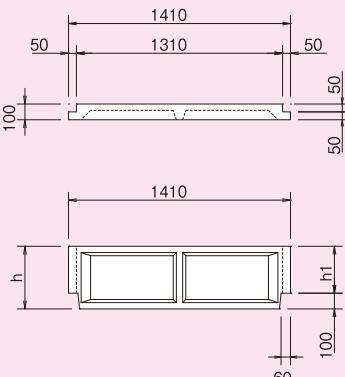
## 分割板

## 分割板

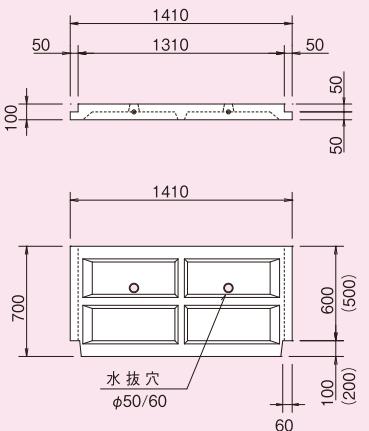
## 300型・400型・500型



## 400型・500型（角落）



## 700型（角落）



参考重量:172(170)kg

※( )内の数値は、200角落。

## 寸法表

呼び名	寸法 (mm)		参考重量 (kg)
	h		
300型	298		65
400型	398		90
500型	498		112

呼び名	寸法 (mm)		参考重量 (kg)
	h	h1	
400型	398	298	88
500型	498	398	110

## 参考歩掛表

## 組立柵渠（標準タイプ）

(1日当たり)

材料断面積の規格 (m <sup>2</sup> )	1日当たり施工量 (m)	労務配置			パックホウ運転	パックホウ運転
		土木一般 世話役(人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	山積0.45m <sup>3</sup> クレーン機能付 2.9t吊(日)	山積0.80m <sup>3</sup> クレーン機能付 2.9t吊(日)
0.16以上2.50以下	26.0(23.4)	1.0	1.0	2.0	1.0	-
2.50を越え3.60以下					-	1.0
3.60を越え9.00以下	37.0(33.3)					

- 材料断面積の規格 (m<sup>2</sup>) は、水路内高×水路内天端幅である。
- 本表の適用するパネル板は転倒防止機能付一枚板とし、アーム間隔は1.5 mを標準とする。
- 据付けに伴う材料の移動手間を含む。
- 本表の据付重機は標準歩掛であり、現場状況に応じ選定して下さい。
- 分割パネル板の場合は、( ) 内数値の施工量を参照して下さい。